

第 9 回千葉県営水道事業中期経営計画評価会議資料 正誤表

資料 4 施策評価調書（主要施策別）様式 1

ページ	該当箇所	誤	正
P. 30 主要施策(7)-1	主要施策（7） 大規模事業体の 責務と社会貢献 取組① 省エネルギー化 の推進及び再生 可能エネルギー の活用	達成指標 再生可能エネルギー 発電設備活用による 発電量	達成指標 再生可能エネルギー 発電設備活用による 発電量
		達成目標 4,200 千 kWh 以上	達成目標 4,200kWh
		達成実績 <u>4,285 千 kWh</u>	達成実績 <u>4,275kWh</u>
P. 31 主要施策(7)-2		（取組の進捗状況） イ）…（中略）…目標の 4,200 千 kWh を上回る <u>4,285 千 kWh</u> を達成しました。	（取組の進捗状況） イ）…（中略）…目標の 4,200 千 kWh を上回る <u>4,275 千 kWh</u> を達成しました。

施策評価調書（主要施策別）

様式1

基本目標	お客様からの「信頼」の確保	整理番号	3-(7)
主要施策	大規模事業者の責務と社会貢献	施策主務課	総務企画課
施策の趣旨	水道水をつくり、お客様にお届けするためには多くの電力が必要です。また、事業を実施するに当たっては、浄水発生土等の廃棄物が発生します。 これまで実施してきた省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用、再資源化等の取組を今後も引き続き進めていきます。 また、蓄積した技術・知識を元に、開発途上国の水道事業者への職員派遣による国際貢献や、県内水道事業者への支援等を通じて、大規模事業者として求められる責務を果たしてまいります。 さらに、県が進めている県内水道の統合・広域化に向けた検討を、引き続き進めてまいります。		

I 施策を達成するための主な取組と達成状況

取組	省エネルギー化の推進及び再生可能エネルギーの活用	担当課	浄水課																			
	(取組の概要) 配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等の水運用の効率化や、設備更新時の省エネルギー機器導入等を今後も引き続き実施し、省エネルギー化を推進します。 また、幕張給水場、妙典給水場及び北船橋給水場に導入したマイクロ水力発電設備、ちば野菊の里浄水場に導入した太陽光発電設備を安定的に運用することで、環境負荷の低減を図るとともに、購入電力量の削減を目指します。 ※ 本取組の内容は主要施策(1)-③「浄・給水場設備の更新・整備」の取組内容のうち、省エネルギー機器導入に係るものを再掲載したものです。																					
	(令和2年度取組計画の概要) 浄・給水場の設備更新事業に合わせて、省エネルギー機器の導入を実施し、省エネルギー化に取り組みます。 また、再生可能エネルギー設備の安定的な運用に取り組みます。																					
	① ・令和2年度の完成を計画していた妙典給水場遠隔監視制御設備更新については、工事着手が遅れたことから、これに関する省エネルギー機器導入による省エネルギー化は令和3年度完成になる見込みです。早期完了に向けて、工事工程管理に引き続き取り組みます。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">R2年度最終予算額(千円)</th> <th colspan="3">R2年度決算額等(千円)</th> </tr> <tr> <th>現年度</th> <th>R1→R2繰越</th> <th>計</th> <th>決算額</th> <th>R2→R3繰越</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>916,506</td> <td>0</td> <td>916,506</td> <td>916,506</td> <td>0</td> <td>916,506</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度最終予算額(千円)			R2年度決算額等(千円)			現年度	R1→R2繰越	計	決算額	R2→R3繰越	計	916,506	0	916,506	916,506	0	916,506		
	R2年度最終予算額(千円)			R2年度決算額等(千円)																		
	現年度	R1→R2繰越	計	決算額	R2→R3繰越	計																
	916,506	0	916,506	916,506	0	916,506																
	達成指標	ア) 省エネルギー化設備率 (省エネ化実施済設備数/省エネ化可能な設備数) イ) 再生可能エネルギー発電設備活用による発電量	内部評価																			
	達成目標	ア) 85.7%(6設備/7設備)(5年間分累計) イ) 4,200千kWh以上	a : 達成している b : 概ね達成している c : 未達成だが進展している d : 進展していない																			
達成実績	ア) 85.7%(6設備/7設備) イ) <u>4,285千kWh</u>	前年度評価	a																			

<p>(取組の進捗状況)</p> <p>ア) 令和2年度完成予定の電気設備更新工事等における省エネ機器導入推進2設備は、計画どおり完成しました。</p> <p>イ) マイクロ水力発電及び太陽光発電を安定的に運用したことにより、令和2年度の発電量は目標の4,200千kWhを上回る 4,285千kWh を達成しました。(一般家庭約1,190戸分に相当)</p> <p>また、従来から配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等の水運用の効率化については、継続的に取り組んでいます。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>省エネルギー化設備率及び再生可能エネルギー発電設備活用による発電量はいずれも目標を達成したため、「a:達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>引き続き、再生可能エネルギー設備の安定的な運用に取り組み、更新事業においては計画期間内の完了に努め、環境負荷の低減と購入電力量の削減を図ります。</p>

	資源リサイクルの推進	担当課	計画課 浄水課			
取組 ②	<p>(取組の概要)</p> <p>浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として引き続き全量を再資源化していきます。</p> <p>また、管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として、アスファルト等の舗装材及びコンクリート塊については、舗装材として引き続き全量を再資源化していきます。</p>					
	<p>(令和2年度取組計画の概要)</p> <p>浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として再資源化します。</p> <p>また、管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として、アスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材として、それぞれ全量を再資源化していきます。</p>					
	R2年度最終予算額(千円)		R2年度決算額等(千円)			
	現年度	R1→R2繰越	計	決算額	R2→R3繰越	計
	390,755	0	390,755	301,837	0	301,837
達成指標	ア) 浄水発生土の再資源化率 イ) 再利用可能な建設発生土の再資源化率 ウ) 建設副産物の再資源化率		内部評価			
達成目標	ア) 100% イ) 100% ウ) 100%		a: 達成している b: 概ね達成している c: 未達成だが進展している d: 進展していない			
達成実績	ア) 100% イ) 100% ウ) 100%		前年度評価	a		